

単元名 かみざら コロコロ(工作)

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 紙皿を使い、転がる形を見付け、表し方を工夫することができる。  
(2) 転がる動きを試し、つくりたいおもちゃを考えるとともに、自分や友人の作品のよさや面白さについて気付くことができる。  
(3) 転がしたり飾ったりしながら、つくることを楽しもうとする。

### 標準的な展開例

01080301\_001

【準備等】 スロープになる大きな板、色画用紙、身辺材（紙コップ、紙皿など転がりそうなもの）、色紙、油性ペン、木工用接着剤、はさみ、セロハンテープ、クレヨン、パス、サインペン、はさみ、のり、化学接着剤 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 転がして遊ぶ楽しいおもちゃを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の参考作品を見て、気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>使っている材料</li> <li>付いている飾り</li> </ul> </li> </ul> <p>★転がして遊ぶ楽しいおもちゃをつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集めてきた材料を室内のスロープで転がし、遊びながら動きの特徴を知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>まっすぐ転がったよ。</li> <li>転がると色が変わるよ。</li> <li>飾りがひらひら動くよ。</li> </ul> </li> </ul> <p>○材料の組み合わせを試して接着し、転がる様子を見ながら、本体のつくり方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セロハンテープで紙コップをつける。</li> <li>接着剤で紙皿と紙コップをつける。</li> </ul> <p>3～5 転がして遊ぶ楽しいおもちゃをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本体に絵や模様をかいいたり、飾りを工夫してつけたりして完成させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>転がすとゆらゆら揺れる飾りっていいね。</li> <li>カラフルなうずまき模様にするよ。</li> <li>ゆっくり進ませるために、たくさん飾りをつけよう。</li> <li>カッコよくしたいから、紙をとがらせてみよう。</li> </ul> </li> </ul> <p>○自分や友達の作品で遊びながら、自分の作品のよさや友達の表現の工夫や楽しさを感じ取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 1・2 上 P. 50, 51</li> <li>転がして遊ぶおもちゃには、いろいろな材料を組み合わせていることに気付かせる。</li> <li>紙皿や紙コップなどの組み合わせ方や飾りのつけ方にはいろいろあることを理解させる。</li> </ul> <p>・教室の中央に台を置き、大きなスロープを準備しておく。</p> <p>・実際に持ってきた材料や参考作品を転がしてみせ、どんな転がり方をするか観察させる。</p> <p>・よく転がるようにするにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>・転がることによって、色や模様、飾り付けが止まっているときとは異なって見えることに気付かせる。</p> <p>・材料を組み合わせたり、手を加えたりして試しながら、自分のつくりたい形にしていくように指導する。</p> <p>・教科書P. 50を参考にし、接着の基本的な方法を示範によって理解させ、いろいろな材料の組み合わせを試して接着させる。</p> <p>・試行することを通して、真っ直ぐに転がすには紙コップと紙皿の適切な接着場所を探り、左右のバランスをとることが必要なことを確認させる。</p> <p>【評】 つくり方を考える活動を通して、身の回りにある材料の形の特徴や転がり方から、楽しいおもちゃを思い付く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・飾りは、転がるときにじゃまにならないようなところに接着するよう助言する。</p> <p>・転がることを意識している飾りや工夫があれば紹介し、作品が転がるということへの意識を高めさせる。</p> <p>【評】 作品を通して、絵や模様をかいいたり、飾りを付けたりするなど、転がることを考えた楽しいおもちゃを作る「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】 これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・友達の作品で遊ばせて、転がり方や飾りの工夫のよいところを見付けさせる。</p> <p>【評】 自分や友達の作品で遊ぶ活動を通して、作品の面白さや楽しさを感じ取る「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】